

### 1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

### 2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

### 3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは（1 つの設問につき）1 点減点。
- ③ 指定用語不使用は 1 点減点。
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくてもよい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

### 4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1) \_\_\_\_\_部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「②（①の説明として）」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

第1問

設問A

(1) 3点

浜堤上の高燥地に立地した海岸線と平行な複数の帯状の集落と、浜堤と浜堤の間の低湿地に形成された水田地帯を確認できるため。(59字)

【加点ポイント】

- ① (海岸線と並行な) 浜堤上に集落が立地している →1点
- ② (①の浜堤上は) 高燥である／周囲より標高が高い →1点
- ③ 浜堤と浜堤の間／浜堤間低地／浜堤間湿地 に 水田／田 が見られる →1点

(2) 4点 [指定語句] 離水海岸 漁具 2つ全て 下線付きで使用

離水海岸であるため、古い浜堤上に立地した岡集落から海が遠のき、浅海底が陸地化した新たな海岸に形成された浜堤上に漁具を置く納屋が造られた。後年、そこに人が定住し、納屋集落となった。(89字)

【加点ポイント】(\_\_\_\_下線の付け忘れは、いくつあっても1点減点)

- ① (この地域は) 離水海岸である →1点 (解答のどこかで指摘していれば可)
- ② 古い浜堤／内陸側の浜堤 に、まず岡集落が立地した →1点
- ③ 新しい浜堤／海岸に近い浜堤 に、後で納屋集落が立地した →1点
- ④ (③の納屋集落は岡集落の人が) 漁具を置いておく納屋であった →1点

設問B

(1) 4点 (各1点×4)

- a 一大陸氷河／氷床 ※「氷河」では加点しない
- b 一大陸棚
- c フィヨルド
- d リアス海岸／リアス式海岸

(2) 3点

氷食を受けた痩せ地の広がる北側は酪農や林業，モレーンから飛来した砂が透水性の良いレスを形成した南側は畑作が盛んである。(59字)

【加点ポイント】

- ① 北側は 酪農／林業 が盛んである →1点 ※酪農・林業のいずれかで加点
- ② 南側は 畑作／小麦栽培／穀物栽培 が盛んである →1点
- ③ (①の理由として) 氷食を受けたため土地がやせている  
(②の理由として) レス／氷食レス が分布するため肥沃な土壤である } →いずれかで1点  
※単に「土壤がやせている／肥沃」では加点しない。理由とセットで加点。

(3) 3点

深くて波が静穏な入江は天然の良港で養殖業にも適し，漁村は立地するが，後背地となる周囲の平野が狭く，大都市は成長しない。(59字)

【加点ポイント】

- ① 入江は天然の良港となる／水深が深い(波が穏やかな)入江で漁村となる  
／波が穏やかで(山地から養分が供給され)養殖業に適している →1点  
※「入江の特徴+良港／漁村／養殖業」で加点
- ② 大都市は立地しない／貿易港にはならない →1点
- ③ (②の理由として) 後背地が狭い／周囲の平野が狭い／背後に山がせまる →1点

(4) 3点

氷期の裾礁が，密着していた陸地や島の一部または全部が間氷期の海面上昇で水没した後も成長し続け，堡礁や環礁となったため。(59字)

【加点ポイント】

- ① 陸地／海岸 に接して，(氷期に)まず裾礁ができた →1点
- ② 海面上昇／土地の沈降 →1点
- ③ (サンゴ礁が発達を続けて) ①が堡礁や環礁となった →1点

第2問

設問A

(1) 2点

アー南北アメリカ イーアフリカ ウーアジア エーヨーロッパ

※4個正解 →2点 1~3個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 1点

いも類を主食とする熱帯アフリカでは、その生産量が多いから。(29字)

【加点ポイント】

★(1)①で「イーアフリカ」を正解していることが加点の前提

① (アフリカでは) いも類の生産が多い/いも類を主食とする →1点

(3) 4点

草原や森林に火を入れ、草木灰を肥料に農耕し、数年後に耕地を移動させて植生の回復を図る焼畑農業が行われる。人口増加から規模の拡大や休閑期の短縮が進み、植生の回復が困難となっている。(89字)

【加点ポイント】

① (c国の伝統的農業として) 焼畑農業が行われる →1点 (※c国はナイジェリア)

② (①の内容として、草原や森林を焼いて) 草木灰を肥料とする →1点

③ (①の現状として) 規模の拡大/耕作期間の延長/休閑期の短縮/焼畑サイクルの短縮 により、  
植生や地力の回復が困難 →1点

④ (③の理由として) 人口増加/商品作物の栽培導入 →1点

(4) 4点

中国などの新興国の経済成長と食生活の変化によって、飼料用のとうもろこしや食用油脂の搾油に用いる大豆の需要が急増したから。(59字)

【加点ポイント】

① とうもろこしの用途は飼料である →1点

② 大豆の用途は 飼料/食用油脂/食用油/搾油用 である →1点

※①②を通して

どちらも飼料に使われる →2点

(とうもろこし・大豆の表記なしで) 飼料として使われる →1点

③ (貿易量増加の理由として) 経済成長/食生活の変化/肉食の増加 →1点

④ (輸入国・需要増の国として) 中国/新興国 →1点

設問 B

(1) 3 点

カーロシヤ キーカナダ クーオーストラリア

ケーコンゴ民主共和国 (「コンゴ」でも可) コーインドネシア

※5 個正解 →3 点 3~4 個正解 →2 点 1~2 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 2 点

クでは気候変動による高温・乾燥で大規模な森林火災が頻発し、ケでは人口急増で耕地拡大や薪炭材の過伐採が行われているから。(59 字)

【加点ポイント】

★(1)で「クーオーストラリア ケーコンゴ民主共和国」を両方正解していることが加点の前提

①クでは、森林火災による(「火災」を指摘していれば可) →1 点

②ケでは、耕地拡大／薪炭材の利用／過伐採 による →1 点

(3) 4 点

タイガの広がるカでは永久凍土の融解でメタンガスが放出され、熱帯雨林の広がるコでは生態系が崩れて生物の多様性を喪失する。(59 字)

【加点ポイント】

★(1)で「カーロシヤ コーインドネシア」を両方正解していることが加点の前提

①カには タイガ／針葉樹林 が広がる →1 点

②カでは(森林伐採により)永久凍土が融解しメタンガスが発生する →1 点

※②では「永久凍土の融解」「メタンガス」の双方を指摘していることが加点の条件

③コには 熱帯雨林が広がる →1 点

④コでは(森林伐採により)生態系が崩れる／生物の多様性が失われる／稀少生物の絶滅  
／遺伝資源の喪失／先住民族の生活基盤や文化を奪う →1 点

※②④について、「土壌流出」は双方に共通するので加点なし

2018年度 第2回8月東大本番レベル模試 地理 採点基準

第3問

設問A

(1) 2点

a—パン b—集積回路 c—製版 d—セメント

※4個正解 →2点 1~3個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 2点

重量減損原料である石灰石が多く分布する県が上位にあるから。(29字)

【加点ポイント】

★(1)で「d—セメント」を正解していることが加点の前提

① (上位の県は) 石灰石／石灰岩 の 産地／分布地域 である →1点

② 石灰石は重量減損原料である／セメント工業は原料産地に立地する  
／セメント工業は原料指向型工業である →1点

(3) 1点

大都市近郊は段ボールの主原料となる古紙の回収に有利だから。(29字)

【加点ポイント】

① (大都市近郊は) 古紙回収に有利／使用済み段ボールを回収しやすい →1点

(4) 3点 [指定語句] アジア諸国 部品輸入 労働力 3つ全て 下線付きで使用

他の集積地に比べ労働力や用地が安価なうえ、成長著しいアジア諸国に近く、部品輸入や製品輸出の輸送コスト面でも優位だから。(59字)

【加点ポイント】( \_\_\_下線の付け忘れは、いくつあっても1点減点 )

① (福岡県は) 労働力が安価／用地が安価／広大な用地を得やすい →1点

② アジア諸国からの 部品輸入 に 便利／輸送コストが安い →1点

③ アジア諸国への 製品輸出／自動車輸出 に 便利／輸送コストが安い →1点

(5) 2点

日本企業はアメリカ合衆国の航空機メーカーとの共同開発に参画し、国際分業の下で部品や素材を生産し組立工程に提供している。(59字)

【加点ポイント】

① (日本企業は) 外国 (米国・欧州) の航空機メーカーと 国際分業／共同開発 をしている。→1点

② (日本企業は) 部品／素材 を 生産／研究開発 する →1点

設問B

(1) 1点

エネルギー革命による炭鉱の閉山で、男性労働者が流出した。(28字)

【加点ポイント】

① (北海道と長崎県はどちらも) 炭鉱が閉山した/石炭の採掘が減少した →1点

(2) 2点

平均寿命の男女差による女性過剰が、高齢化の進行で拡大した。(29字)

【加点ポイント】

① 平均寿命の男女差/女性の方が長生き/男性の方が早世 →1点

② 高齢化の進行 (により①が拡大) →1点

(3) 4点

中枢管理機能の集中する東京では女性比率の高い第三次産業が成長し、神奈川・愛知では男性労働者に偏る重化学工業が成長した。(59字)

【加点ポイント】

① 東京では、第三次産業/商業/サービス業/小売業/金融業/飲食業 が発達した →1点

② ①の産業は女性の労働者が多い (ため東京の性比が低下した) →1点

③ 神奈川・愛知では、重化学工業/第二次産業/製造業/工業/自動車産業 が発達した →1点

④ ③の産業は男性の労働者が多い (ため神奈川・愛知の性比が上昇した) →1点

(4) 3点 [指定語句] 

学歴	社会進出	地域間格差
----	------	-------

 3つ全て 下線付きで使用

女性の社会進出は奨励されるが、地域間格差を背景に地方圏の就業機会は少ないため、高学歴の若年女性による東京移転が増えたから。(59字)

【加点ポイント】( \_\_\_下線の付け忘れは、いくつあっても1点減点 )

① 女性の社会進出が増えた/高学歴の女性が増えた/学歴偏重社会で大卒女性が増えた →1点

② 地域間格差により 地方圏に就業機会が少ない/地方圏より東京の方が就職しやすい  
/東京の方が社会進出の機会が多い→1点

③ (高学歴の) 地方圏の女性も、就職のため東京に流入する/東京で就職する ことが増えた →1点

※「地方圏」は「地方」「東京以外」などでも可